



射水市立東明小学校 学校だより 🎃🍷🎉

# 東明っ子

第11号

令和3年10月12日

## 芸術の秋 素敵な学校コンサート



秋は、とてもさわやかで過ごしやすく、いろいろなことに挑戦できる季節です。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、そして芸術の秋とされています。10月6日(水)に富山文化振興財団からの紹介で、5人のプロの演奏家による「パーカッションと管弦楽器によるアンサンブル」と題した、素敵な音楽を聴く機会を得ました。

当日は、コロナ感染対策として、密にならないよう1～3年生と4～6年生と分けて、2公演していただくことになりました。また、子供たちを体育館のフロアに市松模様になるよう間を空けて並ばせました。

ハチャトリアン作「剣の舞」の力強い演奏から始まり、子供たちは一気に引き込まれました。次に楽器の話になりました。弦楽器のバイオリンやチェロの弓を弾く部分には、馬のしっぽが使われており、その数が150本から200本であると聞いた子供たちは大変驚いていました。そして、参加型演奏の「やかもち君」主役の音楽紙芝居では、やかもち君の行動を子供たちの多数決で決め、それに合った演奏を聴かせていただきました。シンコペーテッド・クロックでは、下学年は山崎先生、上学年は荒木先生が、ウッドブロックを持って、プロの演奏に加わり、上手な演奏を行い子供たちは大喜びでした。

最後は、ビゼー作「アルルの女」の迫力ある演奏に子供たちは感激し、大きな拍手を贈って終えることとなりました。芸術の秋にふさわしい一日でした。



## 東明水族館 おさかなクイズ

飼育栽培委員会が東明水族館にいる魚のクイズを企画しました。クイズは全2問で「メダカ」と一番人気の「ナマズ」クイズでした。①「敵から身を守るためのメダカの特異な能力は何でしょう」②「日本にいるナマズは何種類でしょう」です。みなさん分かりますか？



# おいしいよ カニ給食！！



射水市の給食には全国でも例のない超豪華なメニューの日があります。市内の6年生全員の給食に、射水市特産のベニズワイガニがつくのです。

10月5日（火）、新湊漁業協同組合からカニが届き、一人一人にカニが一杯ずつ配られました。お盆からはみ出しそなくらい大きくて赤い立派なカニです。

さっそく子供たちは、カニを手にして、足を取り、プリプリした身を口に運んでいました。どの子の顔も「ああ、美味しい」と幸せそうでした。贅沢な「カニ給食」に感謝です。



## 「自分を応援する方法」について考えよう

10月5日（火）に6年生は「自分を応援できる自分づくり事業」の出前講座を受けました。富山福祉短期大学より宮越 浩子先生、トラストコーチングスクール公認コーチ 関根 ともえ先生、富山福祉短期大学2年大橋 亜悠美さん3名の講師を迎えて、授業を行いました。最初に宮越先生から「朝から考えて、誰と一番話をしたと思いますか？」の質問に対して子供たちの多くは、「友達」、次に「家族」、「先生」という回答でした。そして、「自分で自分に話しかけますか？」という問いに、子供たちが不思議な顔をすする中、一人の子供が「今日は頑張ったね。よかったよ」と心に話しかけると言ってくれました。先生は、「まさにそういうことです。人はいつでも心の中で自分に問いかけているのです」とおっしゃり、自分で自分を応援することの大切さを教えてくださいました。ワークシートが配付され、子供たちはたくさん自分を応援するメッセージを書き込みました。どの子も笑顔で楽しそうに活動していました。

今回の講座は、「キャリア教育」にもつながる貴重な体験となり、子供たちの自尊心も高まったのではないかと思います。私には、今はやりの「自分探しの旅」の体験版のように感じられ、子供たちの心に響いたのではないかと思います。以下子供たちの感想の一部です。

「私はこの授業を通して、自分を責めるだけではなく、自分を応援したり励ましたりできるようになりたいと思いました」

「自分と自分が会話しているのが1日6万回と聞きびっくりしたけど、それだけ日常はかけがえのない人生につながるのだなと思い、よいことを話していきたいです」

「もしかしたら、自分で自分を責めているときがあると思うから、自分に話すときはちょっとでもポジティブになれればいいなと考えました」

(校長 阿 尾 昌 樹)